



2013年3月7日

お客様向け資料

BNP パリバインベストメント・パートナーズ株式会社

2013年3月6日のブラジル株式市場の上昇について

2013年3月6日のブラジル株式市場は急伸し、代表的なボベスパ指数は3.6%の上昇となりました。この株価上昇の背景についてご報告いたします。

市況概況：

3月6日のブラジル株式市場は、資源・エネルギー関連の主力株の急騰に加えて国内型の消費関連株式も大きく上昇し、ボベスパ指数は日中の取引時間を通じて堅調な動きとなりました。

中でも、ペトロブラス（ブラジル石油公社）は、ブラジル政府がディーゼル価格の5%値上げを認可したことが大きなサプライズとなり、優先株と普通株がそれぞれ9.0%、15.2%の急騰を見せました。その他、資源セクター最大手のヴァーレを始め、エネルギーや鉄鋼セクターの主力株も軒並み大幅高となりボベスパ指数の上昇に大きく貢献する形となりました。

また、同日発表された2月のインフレ関連指数が市場予想を下回る数値だったことから、これまでブラジル市場の上値圧迫要因の一つだった利上げ観測が後退し、住宅・不動産や消費、通信、電力、金融といった内需関連のセクターでも値上がりする銘柄が多くなりました。

米国で発表された民間部門の雇用者数が市場予想を上回ったこともブラジル株式を支援しました。

6日は、これらの好材料が重なり、これまでややもたついている感が強かったブラジル市場は急上昇する結果となりました。

なお、為替市場は比較的小動きで、レアルは対円で若干の上昇、対ドルでは若干の下落にとどまりました。

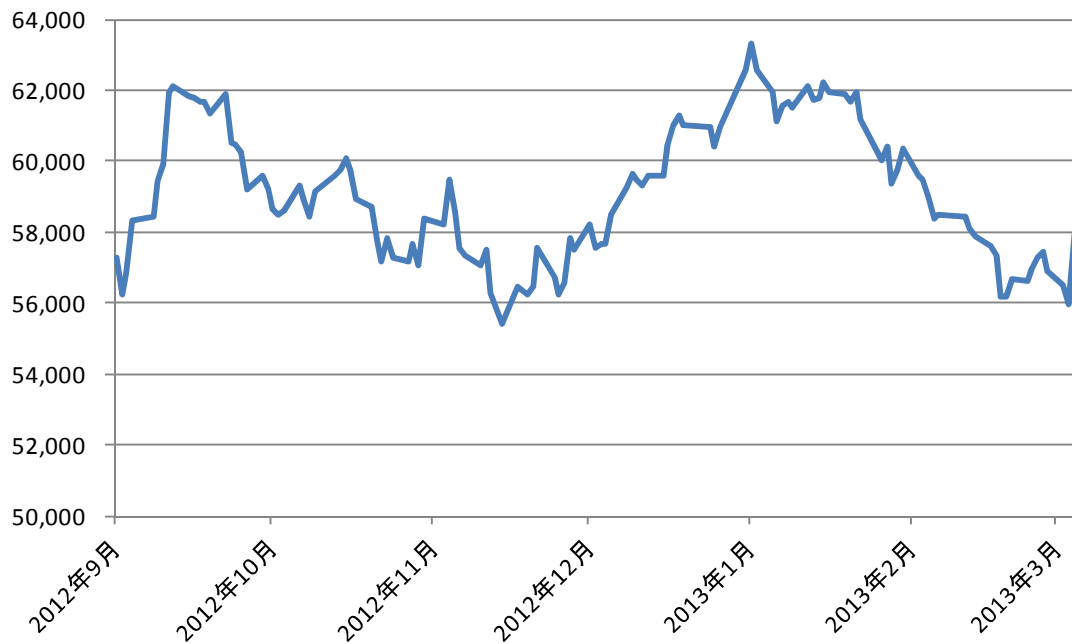
今後の見通し：

ブラジル株式市場の最大銘柄の一つであるペトロブラスに好材料が出たことが、6日の市場上昇の大きな要因となりましたが、ブラジル経済には減速感も強く、しばらくは神経質な展開が続くと見ております。また、2月の総合物価指数の上昇が予想外の低さとなりましたが、サービス分野などを中心とした物価の上昇は、依然として市場の懸念材料として残る可能性もある状況です。株式市場では2011年8月から続いてきた金融緩和局面が終了して、早い段階での利上げ転換を織り込みながら調整気味に推移してきましたが、今後の株式市場を展望する上で、インフレ関連指標の動向は慎重に見守ってまいります。

ただ、金融引締めが継続して行われるような状況でもないと考えられます。米国の経済に回復感が強まっており、中国景気が下げ止まりつつあるなか、ブラジル株式市場はこうした国外からの材料に支援されながら、好業績銘柄を中心に反発に転じる可能性もあると考えます。



＜ブラジルボベスパ指数の推移（2012年9月3日～2013年3月6日）＞



（出所：Bloomberg のデータより当社作成）

本資料は、BNP パリバアセットマネジメント ブラジルが作成した資料をもとに、BNP パリバインベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解等を提供することを目的として、上記日付に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。